

2020年11月10日

2021年3月期 第2四半期 決算説明会資料

株式会社島津製作所
代表取締役社長 上田輝久

① F Y 2020 中間決算

② F Y 2020 中間セグメント別業績

③ F Y 2020 通期予想

中間期業績サマリー



減収増益
営業/経常/純利益は
過去最高を更新

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により全体では減収増益（4期ぶりの減収）
- ・営業利益・経常利益・当期純利益は過去最高を更新
- ・営業利益・当期純利益は6期連続で過去最高を更新、営業利益は8期連続で増益

**新型コロナウイルス
感染の影響**

- ・産業・航空は増収増益、計測は減収増益、医用は減収減益
- ・計測は新型コロナウイルス検査試薬キットなどが増加、大学の閉鎖、自動車関連は減少
- ・医用は肺炎検査の回診用X線撮影装置が増加、医療機関の経営悪化で需要減少

**中国計測事業の
急速な回復**

- ・中国の計測は、薬典改訂や政府の規制強化を背景に、医薬・食品安全が好調で、2四半期連続で2桁の増収（1Q+10%、2Q+16%、中間期+13%増）
- ・中国の医用も7%増、産業機器も8%増

**計測の重点機種が回復
産業のTMPも好調**

- ・計測の重点機種（LC・MS・GC）は、製薬・食品安全・医療機関向けを中心に回復、第2四半期は重点機種合計で、売上・営業利益とも過去最高を更新
- ・産業のTMPは、5Gやデータセンターを中心とした半導体需要の拡大により好調を継続

損益計算書

- 売上高 1,788億円 (前年差▲77億円、前年同期比▲4%)
- 営業利益 196億円 (前年差+18億円、前年同期比+10%)
- 営業利益率 11.0% (前年差+1.4pt)

	単位：億円	中間期		前同比	
		FY2020	FY2019	差額	増減率
業績	売上高	1,788	1,865	▲77	▲4%
	営業利益	196	179	+18	+10%
	営業利益率	11.0%	9.6%	+1.4pt	-
	経常利益	195	187	+8	+4%
	親会社株主に帰属する当期純利益	139	132	+7	+5%
為替	平均レート：米ドル (円)	107.0	108.7	▲1.7	▲1.6%
	ユーロ (円)	121.3	121.5	▲0.1	▲0.1%
投資	研究開発費	71	85	▲13	
	設備投資額	59	97	▲38	
	(減価償却費)	76	65	+10	

為替影響

売上高 : ▲13億円
営業利益 : ▲5億円

為替感応度

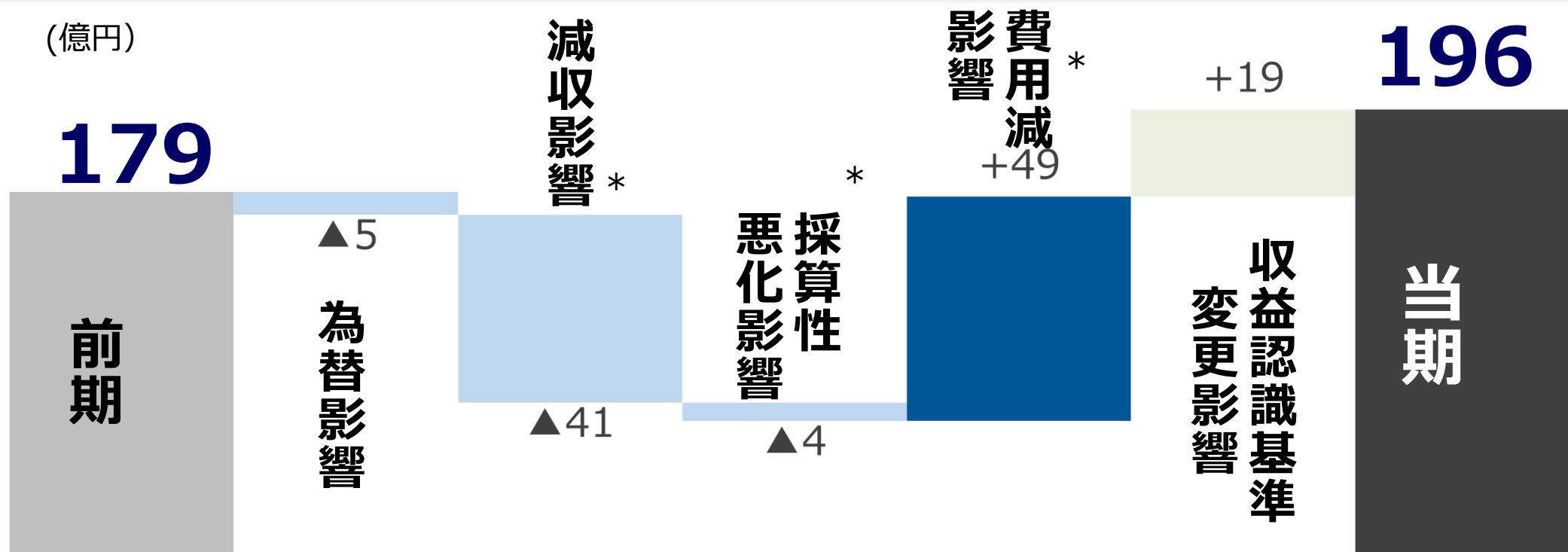
	売上高	営業利益
USD	12億円	4億円
EUR	2億円	0.7億円

* 今期より収益認識基準を変更：
→売上基準を出荷基準から据付完了基準に変更
(据付を完了しなければ、売上計上にならない)
影響額：売上+41億円、営業利益：+19億円

* 減価償却：会計基準変更の影響により+9億円
(リース基準変更 賃借料→減価償却費)

営業利益増減要因

- ・ 為替影響 : ▲ 5億円:前期と比べUSドルが2%円高、ユーロはほぼ横ばい
- ・ 減収影響 : ▲41億円
- ・ 採算性悪化 : ▲ 4億円:セグメントミックスの変化などにより悪化
- ・ 費用減 : +49億円:経費削減の推進、営業活動の制限による減少
- ・ 収益認識基準 : +19億円



セグメント別損益

- 計測：減収増益 ■ 重点機種以外の減少で全体は減収となったが、重点機種の増加などにより営業利益額・率とも過去最高を更新
- 医用：減収減益 ■ 肺炎検査用のX線撮影装置が増加したが、新型コロナの影響による医療機関の経営悪化により、需要が停滞
- 産業：増収増益 ■ 半導体製造装置向けにTMPが牽引、日本・北米・中国・アジアで伸ばして好調に推移
- 航空：増収増益 ■ 民間航空機市場は厳しい状況が続くが、防衛の大口案件でカバー

単位: 億円	売上				営業利益				営業利益率		
	FY2020	FY2019	前同比		FY2020	FY2019	前同比		FY2020	FY2019	前同比 増減
			差額	増減率			差額	増減率			
計測	1,098	1,134	▲37	▲3%	172	156	+15	+10%	15.6%	13.8%	+1.8pt
医用	306	349	▲43	▲12%	11	14	▲3	▲21%	3.6%	4.0%	▲0.4pt
産業	205	195	+10	+5%	17	11	+6	+52%	8.3%	5.8%	+2.5pt
航空	160	152	+8	+5%	4	3	+1	+36%	2.6%	2.0%	+0.6pt
その他	19	35	▲16	▲47%	2	6	▲4	▲71%	6.5%	13.7%	▲7.2pt
調整額					▲9	▲12	+2	-			
合計	1,788	1,865	▲77	▲4%	196	179	+18	+10%	11.0%	9.6%	+1.4pt

* 売上は外部売上
営業利益率は営業利益/外部+内部で算出

① F Y 2020 中間決算

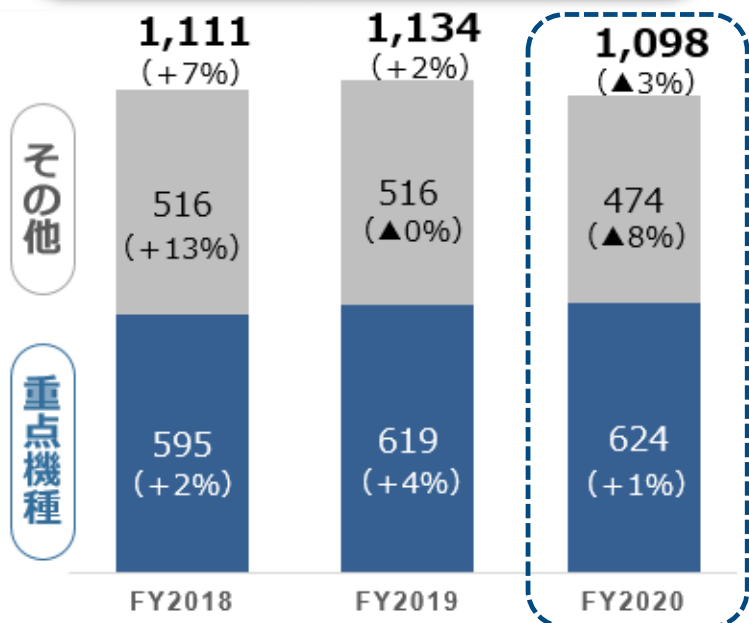
② **F Y 2020 中間セグメント別業績**

③ F Y 2020 通期予想

計測機器/機種別売上高

- 重点機種** : 624億円 (対前年: +5億円、+1%)、第2四半期は対前年+17億円、+5%で回復傾向
 LCは一体型が製薬、MSは医療機関向け、GCは衛生管理分野向けに増加
- その他** : 474億円 (対前年: ▲42億円、▲8%)
 新型コロナウイルス検査試薬キットが好調。一方、輸送機などの産業分野は設備投資の回復が遅れて、全体では▲8%減少
- アフターマーケット (AM)** : 372億円 (対前年: +10億円、+3%) AM比率: 34% (+3pt)
 新型コロナウイルス検査試薬キットとLCが牽引

計測機器 売上高 推移 (億円)



計測機器製品

その他				
	新型コロナウイルス 検出試薬キット	試験機	水質分析計	分光光度計
重点機種				
	一体型液体クロマト グラフシリーズ	ガスクロマトグラフ MALDI 8020	液体クロマトグラフ 質量分析計	

計測機器/地域別売上高

日本：▲8% 新型コロナウイルス検査試薬キットは好調に推移、一方輸送機向けの試験機・非破壊検査装置などは減少

海外：横ばい 中国は回復基調が継続、北米も医療機関向けで質量分析システムが牽引し増加

欧州・その他のアジアは新型コロナウイルスの影響で減少傾向が継続

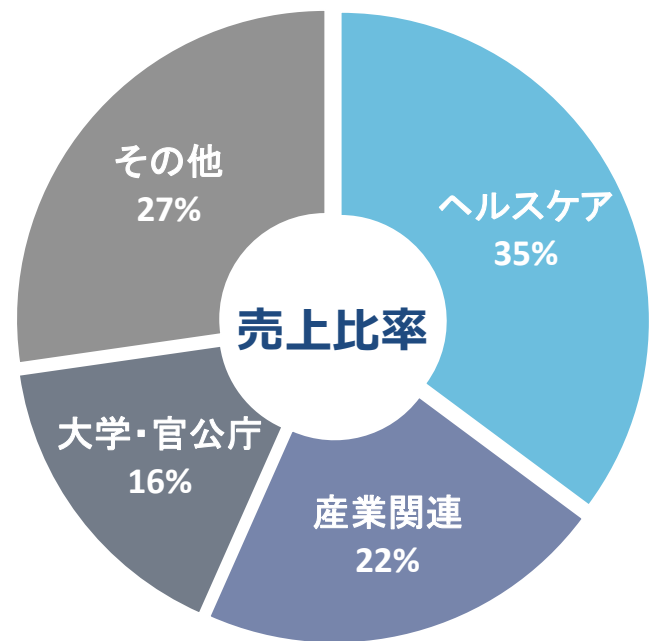
海外売上高比率：61.7%（前年同期：59.7%，+2pt）

	FY2020	FY2019	増減額	増減率	概況
日本	421	457	▲36	▲8%	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス検査試薬キットが増加 ・輸送機・化学・電機分野で試験機・非破壊検査装置などが減少 ・前年同期の消費増税前の駆け込み需要の反動により減少
海外	677	677	▲1	▲0%	<ul style="list-style-type: none"> ・中国は回復が継続 ・北米も医療機関向けに質量分析システムが牽引し増収 ・欧州・その他のアジアは減収
中国	281	250	+31	+13%	<ul style="list-style-type: none"> ・政府の積極的な感染症対策投資や、12月の公布に向けた「2020年版薬典」を背景に、医薬・食品安全分野で、液体クロマトグラフや質量分析システムが好調に推移
北米	123	121	+3	+2%	<ul style="list-style-type: none"> ・第1四半期にロックダウンによる影響があったものの、医療機関の衛生管理の高まりにより院内の微生物同定向けにMALDI-MSが好調に推移
欧州	113	120	▲7	▲6%	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアで、欧州への輸出用に向けた農産品・食品産業の振興を受け、食品安全分野で液体クロマトグラフ・質量分析システムが増加 ・欧州全域で大学の一時的な閉鎖により、大学向けの売上が減少
その他アジア	121	138	▲17	▲12%	<ul style="list-style-type: none"> ・インドで、中国からの輸入が滞ったことによる、医薬品原薬製造の国内回帰を要因に、医薬向けに液体クロマトグラフが増加 ・第1四半期はロックダウンの影響で減収したが、第2四半期は回復傾向

計測機器/市場別売上高比率

- ・ヘルスケア : 医薬品・医療機関向け重点機種や新型コロナウイルス検査試薬キットが好調に推移
- ・産業関連 : 中国市場は回復基調だが、中国以外の地域で減少
- ・大学・官公庁 : 大学は一時的な閉鎖より減少、官公庁は入札の延期により減少

市場別売上構成比

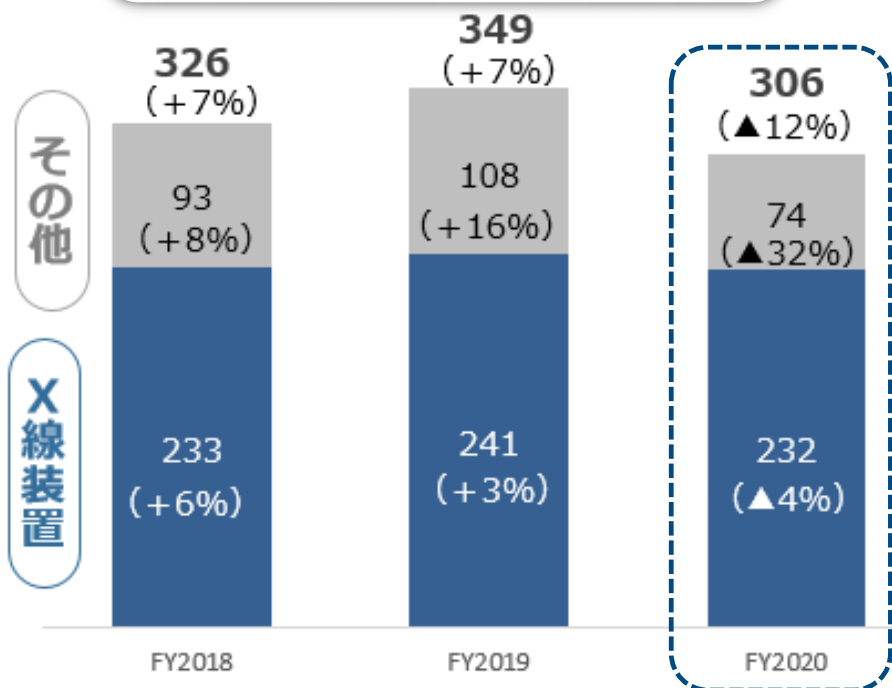


市場と主な業界	売上前同比	概況
ヘルスケア ・医薬品・食品 ・医療機関 ・受託分析業	+8%	・医薬品・医療機関がグローバルで増加
産業関連 ・化学・素材 ・電機 ・自動車	▲5%	・中国が増加したもの、中国以外は減少 ・自動車向けが大幅に減少
大学・官公庁	▲10%	・大学は一時的な閉鎖により減少 ・官公庁は入札の延期などにより減少 ・公的予算の投入や入札再開により回復傾向

医用機器/機種別売上高

- ・X線装置： 232億円（対前年：▲9億円、▲4%）
新型コロナウイルス感染症の肺炎検査で、回診用X線撮影装置が伸長
血管撮影システム・X線TVシステムは市況の停滞で減少
- ・その他： 74億円（対前年：▲34億円、▲32%）
- ・アフターマーケット（AM）： 103億円（対前年：▲4億円、▲4%） AM比率： 34%（+3pt）

医用機器 売上高 推移（億円）



医用機器製品

その他				
	マンモPETシステム	近赤外光カメラシステム	近赤外光イメージング装置	放射線治療関連装置
X線撮影装置				
	回診用装置	一般撮影システム	血管撮影システム	X線TVシステム

医用機器/地域別売上高

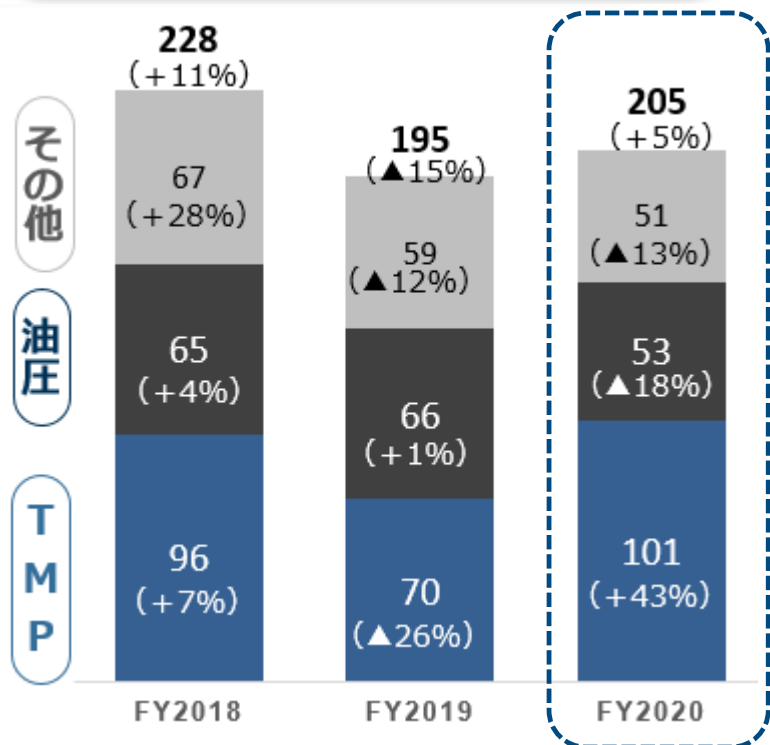
- ・ 日本 : ▲ 29% 新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関の収益が悪化し、設備投資が遅延
前年同期の消費増税前の駆け込み需要の反動により減少
- ・ 海外 : + 17% 回診用X線撮影装置が海外主要地域で増加
- ・ 海外売上高比率 : 48.1% (前年同期:36.0%, +12pt)

	FY2020	FY2019	増減額	増減率	概況
日本	159	223	▲64	▲29%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症が影響し医療機関で設備投資の延期や凍結 ・ 前年同期の消費増税前の駆け込み需要の反動により減少
海外	147	125	+22	+17%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肺炎診断用に回診用X線撮影装置が海外主要地域で増加
北米	43	36	+7	+20%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回診用X線撮影装置が増加 ・ 昨年買収した販売会社（CMI社）を吸収合併した効果
その他 アジア	29	22	+6	+29%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回診用X線撮影装置が牽引
欧州	21	17	+4	+25%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回診用X線撮影装置の増加 ・ 東欧やロシアで一般撮影システムが増加
中国	27	25	+2	+7%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回診用X線撮影装置は増加 ・ 入札の遅延や医療機関の収益悪化などが影響

産業機器 / 機種別売上高

- ・ **TMP** : 101億円 (対前年 : +31億円、+43%) 半導体製造装置向けが好調、中間期の過去最高を更新
- ・ **油圧** : 53億円 (対前年 : ▲13億円、▲18%) フォークリフト・小型建機向けの需要が減少
- ・ **その他** : 51億円 (対前年 : ▲8億円、▲13%) 設備投資抑制などでガラスワインダが減少
- ・ **TMP アフターマーケット (AM)** : 19億円 (対前年 : +1億円、+7%) AM比率 : 18% (▲6pt)

産業機器 売上高 推移 (億円)



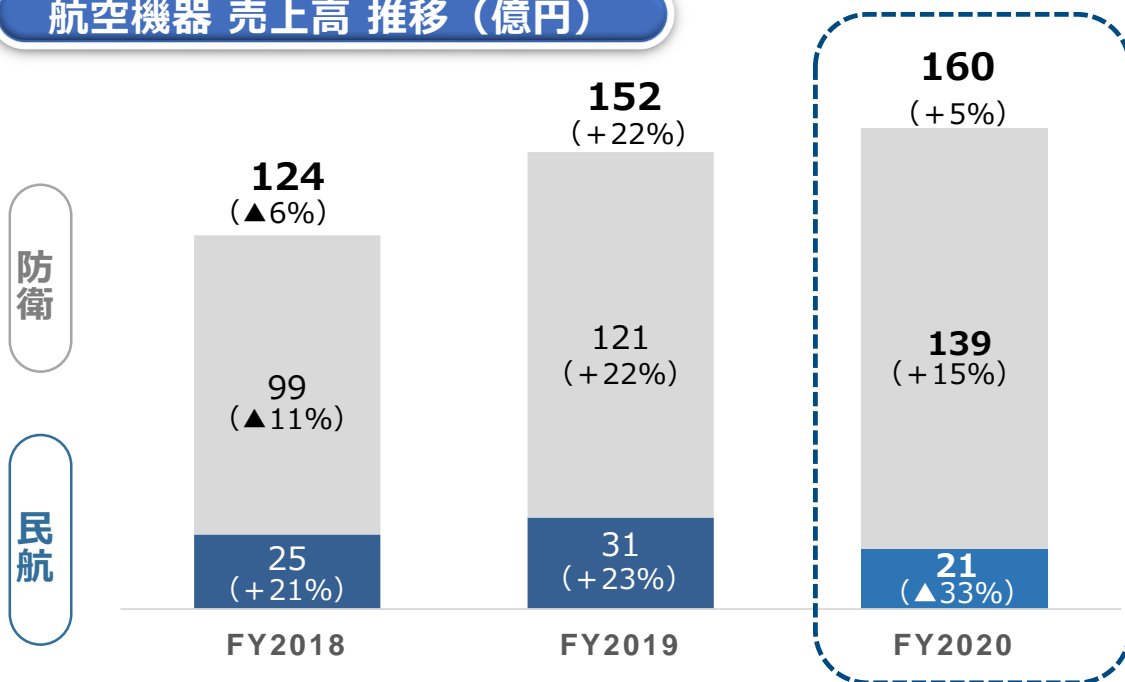
産業機器製品

その他			
	工業炉	ガラスワインダ	バランサー
TMP			
	電源一体型	電源別置き型	
油圧機器			
	ギアポンプ	コントロールバルブ	

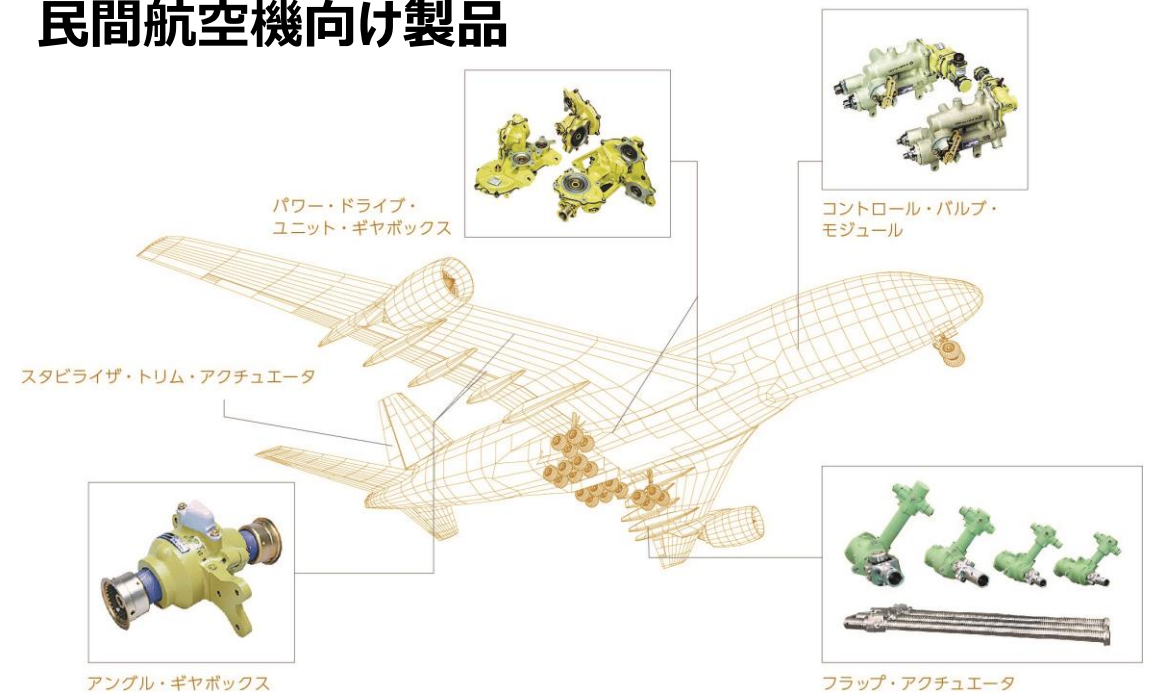
航空機器

- ・ 民航： 21億円（対前年：▲10億円、▲33%） ボーイングを中心として民間航空機の大幅減産などにより減収
- ・ 防衛： 139億円（対前年：+18億円、+15%） 防衛省向け大口案件で増加

航空機器 売上高 推移（億円）



民間航空機向け製品



① F Y 2020 中間決算

② F Y 2020 中間セグメント別業績

③ F Y 2020 通期予想

事業環境（下期）

・新型コロナウイルス感染症の影響が依然として収束の気配を見せておらず、グローバルで厳しい経済環境が続くと予想

対前年との比較

事業		概況
計測	ヘルスケア	○ <ul style="list-style-type: none"> ■ 海外展開の本格化により、新型コロナウイルス検出用体外診断用医薬品の拡大 ■ 製薬、ウイルス研究向けに増加 ■ 中国で「薬典」改定（12月公布）における需要増
	大学・官庁	▲ <ul style="list-style-type: none"> ■ 大学は順次再開、また官公庁の入札も始まる ■ 各国政府の感染症対策に関する研究開発強化による需要の拡大
	産業関連	×
医用	公立病院	▲ <ul style="list-style-type: none"> ■ 回診車は、下期も一定の需要を期待 ■ 経営が厳しい状況が継続するが、政府補助金による設備投資増を見込む
	民間病院	×
産業	TMP	○ <ul style="list-style-type: none"> ■ 半導体製造装置向けが好調に推移
	油圧	▲ <ul style="list-style-type: none"> ■ 中国は好調継続、フォークリフト・小型建機の需要は回復傾向
	工業炉・ガラスワインダ	▲ <ul style="list-style-type: none"> ■ 中国を中心に回復傾向
航空	民間航空機	×

通期業績予想

- ・ 中間期の業績や今後の事業環境を勘案し、売上3,650億円、営業利益380億円に上方修正
- ・ 中間配当は期初予想から2円増配し15円、年間配当金は28円に上方修正

	通期			期初予想比		前期比		
	単位：億円	FY2020	期初予想	FY2019	差額	増減率	差額	増減率
業績	売上高	3,650	3,400	3,854	+250	+7.4%	▲204	▲5.3%
	営業利益	380	220	418	+160	+72.7%	▲38	▲9.2%
	営業利益率	10.4%	6.5%	10.9%	+3.9pt	-	▲0.4pt	-
	経常利益	375	220	427	+155	+70.5%	▲52	▲12.1%
	親会社株主に帰属する当期純利益	270	160	318	+110	+68.8%	▲48	▲15.0%
為替	平均レート：米ドル (円)	106	105	109	+1	+1.0%	▲3	▲2.6%
	ユーロ (円)	118	115	121	+3	+2.6%	▲3	▲2.4%
主要投資	研究開発費	160	160	169	+0	+0.0%	▲9	▲5.3%
	設備投資額	120	120	177	+0	+0.0%	▲57	▲32.1%
	減価償却費	150	150	133	+0	+0.0%	+17	+13.2%

為替影響

売上高 : ▲39億円
営業利益 : ▲13億円

配当

中間配当15円 (期初予想13円・前期15円)
 期末配当13円 (期初予想13円・前期15円)
 年間配当28円 (期初予想26円・前期30円)

* 減価償却：会計基準変更の影響により+17億円
 (リース基準変更 賃借料→減価償却費)

通期セグメント別業績予想

計測： ■ 中国は回復基調。中国以外は新型コロナウイルス影響を受け、厳しい状況が継続

医用： ■ グローバルで医療機関の経営が厳しく、市況は停滞する見込み

産業： ■ 半導体製造装置向けTMPは好調。工業炉・ガラスウイングは中国以外で回復まで時間を要する

航空： ■ 防衛・民間航空共に厳しい状況が継続

単位: 億円	売上				営業利益				営業利益率		
	FY2020	FY2019	前期比		FY2020	FY2019	前期比		FY2020	FY2019	前期比
			差額	増減率			差額	増減率			増減
計測	2,280	2,362	▲ 82	▲ 3%	335	358	▲ 23	▲ 6%	14.7%	15.1%	▲ 0.4pt
医用	620	702	▲ 82	▲ 12%	24	32	▲ 8	▲ 25%	3.9%	4.5%	▲ 0.7pt
産業	425	430	▲ 5	▲ 1%	37	37	+0	+1%	8.7%	8.5%	+0.2pt
航空	285	300	▲ 15	▲ 5%	6	8	▲ 2	▲ 24%	2.1%	2.6%	▲ 0.5pt
その他	40	60	▲ 20	▲ 33%	5	12	▲ 7	▲ 58%	8.6%	15.4%	▲ 6.8pt
調整額					▲ 27	▲ 28	+1	-			
合計	3,650	3,854	▲ 204	▲ 5%	380	418	▲ 38	▲ 9%	10.4%	10.9%	▲ 0.4pt

下期の重点施策

- 新型コロナウイルスの影響が続く中、成長市場、縮小市場などの市場動向を的確に捉えて、事業戦略に反映させる
- 4月からスタートさせている緊急経営施策を推進する

感染症対策プロジェクト
の推進

重点機種を中心にした
シェアの拡大

リカーリング事業の推進
サブスクリプション、E-Shop、
従量課金型ビジネス

事業環境の変化に
合わせた地域戦略の検討

緊急経営施策の
継続

各事業セグメントの下期の重点的取組み

■ 計測機器

- ・ 感染症全般にわたる事業展開を加速
- ・ 重点機種（LC・MS・GC）拡販、新規分野の開拓
- ・ 新型iシリーズなど新製品の投入・拡販
- ・ カラム・安定同位体試薬など
アフターマーケット事業の拡大



■ 産業機器

- ・ 技術力による差別化を推進し、シェアを拡大
- ・ 5Gやデータセンター向けの半導体需要の拡大に伴う半導体製造装置の増加に対応、TMPをタイムリーに供給



磁気軸受型ターボ
分子ポンプ



複合軸受型ターボ
分子ポンプ

■ 医用機器

- ・ 高機能ソフトやサブスクリプションサービスなど新しいソリューションビジネスを拡大
- ・ 回診用撮影装置のグローバルな需要増への対応を継続
- ・ IOTなど業務のデジタル化でコストダウン・経費削減を推進

■ 航空機器

- ・ 経費削減や人員配置の最適化、コストダウンを継続
- ・ 製品の選択と集中を推進

重点機種：液体クロマトグラフ 製品ラインナップの強化・拡充

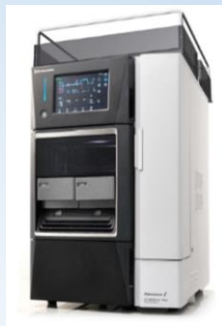
- リモートワーク機能を強化：Advance i-Series With/Postコロナ時代のニューノーマルに対応した新製品
- 新規ラインナップの拡大：液体クロマトグラフの応用分野の拡大、新規分野の開拓

新*i-Series*

■ Advanced i-Series

遠隔操作・モニタ機能を搭載

- 独自解析機能により、作業者の習熟度に依存しないデータ解析が可能
- 抗菌処理済みのタッチパネルを搭載
- 室温変化の影響を受けにくい安定したベースライン



■ スライドインカラム対応 LC-2030C NT

チップLCカラムを搭載

- 工具不要のスライドインカラム
- 直観的操作で分析終了まで自動化
- 専用アナライザを志向



■ マルチプレックスLCMS

- 1台のオートサンプラに2チャンネルの流路を搭載し稼働率を向上
- 独自の注入・洗浄機構で残存成分を高効率に除去



Nexera MX

■ ナノ材料分級計測システム

- 10nmクラスのナノ粒子を高精度に選択的に分取
- 電子部品の高性能化などを支援



FFF-C8030

重点機種：質量分析システム 製品ラインナップの強化・拡充

- **ハイエンド2機種を発売**：医学・創薬・臨床などでのシェア拡大と新規分野の開拓を推進
- **質量分析の総合的ソリューションを提供**：データ解析ソフトや前処理装置も発売

■ 世界最高クラスの高感度LCMS

- 夾雑成分を除去し、安定した高感度分析を実現
- 医学・創薬・食品などの分野を深耕



LCMS-8060NX

■ イメージング質量顕微鏡

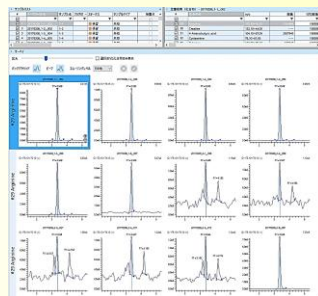
- 光学画像と組み合わせ、世界最高クラスの感度でサンプルの位置情報を取得
- 医学・創薬などの分野を開拓



iMScope™ QT

■ 高感度LCMS用AIソフトウェア "Peakintelligence Ver.2"を投入

- 解析時の作業時間を大幅に短縮
- サブスクリプションで提供



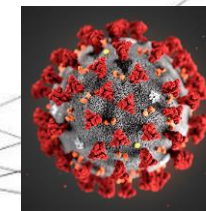
■ 検体前処理装置(クラス I 医療機器)

- 血液・尿などのサンプルの前処理から分析までを全自動化



製造販売届出番号 (医療用)
26B1X00003900003

CLAM-2030CL / LCMS



感染症対策プロジェクト：①業績への貢献に関連する製品群

- 「ウイルス・細菌等病原体分析のソリューション提供」の取り組みを強化
- 「新型コロナウイルス感染拡大の防止」と、今後の新たな課題である「感染症全体に対する対策」という2つの視点で、大学・医療機関などと協働して取り組みを推進

ウイルス検査

■ 新型コロナウイルス検出試薬キット

前処理を簡便化、PCR検査を従来の半分の70分で実現
唾液検査で体外診断用医薬品としての
製造販売承認を取得



- #### ■ 新型コロナウイルス治療薬候補の血中濃度測定
- 治療薬の血中濃度測定用安定同位体試薬、
LCMSによるモニタリングが可能



■ 消毒用エタノールの試験

日本薬局方・米国薬局方・欧州薬局方
で定められた試験法でエタノール濃度を分析



FTIR



UV



GC

試薬

装置

病態診断・感染予防

- #### ■ 回診用X線撮影装置
- 病室のベッドサイドで、
迅速に肺炎診断を実施



感染症対策で使用されている当社の回診用装置

- #### ■ 無人問診システム
- 感染リスクを低減するため、
医療機関での問診を
無人で行うシステム



装置

装置

試薬

治療薬の開発支援

- #### ■ 新規治療薬の開発支援
- 製薬会社・大学での感染症治療薬開発に、質量分析計を中心とした分析装置・試薬を提供



LCMS



イメージング質量顕微鏡



安定同位体試薬

感染症対策プロジェクト：② 試薬キットの展開

- 試薬キットの発売や適用拡大など事業展開を加速
- 医療機関とのビジネス渡航者の陰性証明発行サービスを開始
- 大学・企業との連携による継続的な検査で、感染防止にも貢献

上期実績：試薬キット発売・適用拡大

4月

* 研究用試薬キットを発売

5月

* 唾液での有効性を確認

6月

* PCR検査サービスを開始

9月

- * 体外診断用医薬品として製造販売承認を取得
- * 海外販売を開始



体外診断用医薬品
製造販売承認番号 30200EZX00065000

今後の展開：行政・大学・企業との提携

6月

- * PCR検査サービスを開始
- * ビジネス渡航者向け陰性証明を発行



9月

- * 京都産業大学と包括的連携
- * 無症状感染者による感染拡大防止
- * 安全な学内活動を支援



黒坂光 京都産業大学学長（右）と上田輝久 当社社長（左）

10月

- * キヤノンメディカルシステムズ（株）と協業
- * 当社開発の検体処理液（Ampdirect）を提供
- * 蛍光LAMP法の開発を支援



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
電話：075-823-1673 E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp